

MJ進路通信

群馬県立前橋女子高等学校
進路指導部
令和4年11月1日(火) 第25号

1,2年11月進研模試に向けた“スタンダード”

- ①受験前に、デジタルサービスに「目標点」と「志望校」を記入
- ②受験後に、自己採点をして「できなかったところ」を即座に復習して入力
- ③11月～冬休み終了までに「何を」「どれだけ」やるかを計画する

11/3の進研模試に向けて。目先ではなく、どれだけ“全国（ライバルは全国の同級生）を”、どれだけ“その先（大学入試の本番）を”意識してイメージできるか。上の①～③がそのスタンダードです。「指標」にしてください。

東大生との進路懇談会がおこなわれました

9/21(水)放課後、会議室にて前女OGの東大生(2年)を招いての進路懇談会を実施しました。前半は、東大の様子、カリキュラムなどの話、後半は受験体験、学習のアドバイスを中心に話をしてもらいました。

講演後の質疑応答では、たくさんの質問が出ましたが、予定した時間をオーバーしても先輩が丁寧に質問に答えてくれました。

参加した生徒の感想を紹介します。



理系であり、東大志望でないけれど、勉強へのモチベーションを上げようとこの講演会に参加しました。東大の人と直接関わったことがあまり無い私にとって、東大は雲の上の存在で無縁だと思っていたけれど、初ゼミや全学自由研究ゼミナール、英語の論文の書き方の授業など、東大の魅力を感じ、興味を持ちました。共通テストや二次勉強の具体的な計画だけでなく、小テストや普段（受験生でないとき）の勉強の積み重ねの重要性を学びました。また、入学するまでの勉強は大変だけど、大学生活が楽しく、「明るい大学生活が待っている」という言葉が印象的で、私も頑張ろうと思えました。

受験の戦略や大学生活など、多くの情報を得てモチベーションを上げることができたので、参加して本当に良かったです。

このように、東大志望でなくても、話を聞いて「今後の自分に活かしたい」と思う生徒がたくさん参加しました。

現役医師を招いての医学科セミナーがおこなわれました 医師はタフでない！

10/13(木)放課後、会議室にて群馬大学附属病院の先生を招いての医学科セミナーを実施しました。70名を超える生徒が参加しました。

医師の1日、1週間のスケジュールを紹介してもらった時、「すごい。タフだ」という生徒の声が聞こえたのが印象的でした。医師になるための医療知識、技術はもちろん、精神的にも肉体的にタフでないと務まらないんだということを知ることができました。また、医師になってからも学び続けている様子も伺えました。「医学部に入る」「医師になる」が目標のゴールではなく、「どんな医師になりたいか」をイメージしていくと必然的に「今やるべきこと」がわかると思います。



2年スペシャリストガイダンスII 大学模擬講義10/14

前女卒業後の“その先”をイメージできたか

10/14(金)午後、大学の先生を招いての大学模擬講義を実施しました。生徒は受講したい分野を2つ選び、講義を聴きました。

毎年この企画の後、大学の学びを具体的にイメージできるようになり日頃の勉強にも好影響が出てきたり、この講義での出会いで志望校が決まる生徒が出てきます。

それはそれで当然いいことなのですが、2年生に伝えたいのは、今回の講義が大学の学びの全てではないということです。企画の目的として、今回の講義をモデルケース（一つの例）、きっかけにして、もっと深く大学（の学び）について調べて行ってほしいということです。例えば、文学にも今回受講した分野と違う分野はたくさんあります。こういう企画を通して、あなた達の知的好奇心や潜在能力をくすぐりたい。そして、そこからあなたが自分自身で知的好奇心が出てくるような、モチベーションが上がるような「行動」をしていくことが肝要です。



修学旅行から帰ってきて11/16(水)には河合塾の先生を講師にして「進路講演会」を実施します。ただ受け身にこういった様々な企画を聞くのではなく、「なぜこの時期にやるのか」を自分自身で考えて、意味あるものにしていくアンテナを持ってください、2年生諸君！